

やまがた森の感謝祭2023・ 第73回山形市植樹祭の開催について

県では、6月の第1土曜日を「やまがた森の日」と定め「やまがた森の感謝祭」を開催しています。

今年度は、6月3日に山形市大字門伝地内において「植樹して 自然の恵み みんなの笑顔」を開催テーマに、県内各地から森林・林業関係者のほか、緑の少年団など360名ほどの参加を得て開催しました。

今回は、山形市が開催する植樹祭との併催ということで、CO₂ 認証書授与のほか、山形市有林の管守人への感謝状の贈呈を行うとともに、地元
の山形市立東沢小学校緑の少年団員と山形市長及び県知事による「森づくり宣言」も行いました。

その後は、参加した緑の少年団や森林・林業関係者による少花粉スギのコンテナ苗1,440本の植栽、また山形市緑の幼年団による昨年度植栽のスギへの施肥と、幅広い世代の参加者から森づくりを体験いただく絶好の機会となりました。



森づくり宣言をした山形市長と知事及び少年団



参加者全員で植栽作業

やまがた緑環境税の 評価・検証委員会について

県では、やまがた緑環境税を活用した事業を効果的に進めるため、第三者機関として「やまがた緑環境税評価・検証委員会」を設置し、やまがた緑環境税を活用した事業の評価・検証や施策の見直しの協議等を行っています。

今年度は、第1回目の委員会を最上地域において9月6日に開催しました。会議では、やまがた緑環境税活用事業の実績などについて報告を行うとともに、令和8年度の見直しに向けた進め方についてご意見をいただきました。

会議の後は、税を活用した金山町内の荒廃のおそれのある森林の整備状況、皆伐跡地での再造林の実施状況を視察しました。また、新庄市内の保育園の森や自然とのふれあい活動、チョウセンアカシジミの保全活動の視察では、実施団体の代表から森づくり活動への思いも伺うことができ、有意義な視察となりました。



荒廃のおそれのある森林の
保全状況を視察(金山町)



保育園の森と木製遊具を視察
(新庄市)



チョウセンアカシジミの卵
(新庄市)

各総合支庁予算事業

村山 総合支庁 【むらやま木育活動】

村山総合支庁では、平成29年度より「木に触れる体験」を通じて、「木の良さや木を使う事の大切さ」を伝える木育（もくいく）活動を進めています。

村山地域の子育て支援施設等と連携を図りながら、木育プログラムの実施、新たな木育プログラムの開発、指導者の育成、普及啓発を実施しています。

今後もむらやま木育を広く普及し、森や木を学ぶ機会をつくっていきます。



子育て支援施設での木育プログラム体験

最上 総合支庁 【遊学の森 森の案内人養成講座】

金山町に位置する遊学の森で、高校生以上の一般県民を対象に、年間を通して自然に関する指導のできる指導者の養成を目的として、指導者に必要な基礎的知識と技術の習得を目指す『森の案内人養成講座』を春、夏、秋、冬と4回開催しました。年間を通して開館している遊学の森の特色を活かし、山菜講座、樹木講座、キノコ講座、雪の講座など、その季節に合わせた講座を行いました。全ての講座で、20名以上の方に参加していただきました。



秋のブナ林で植物の知識を学ぶ様子

置賜 総合支庁 【おきたま 森の感謝祭2023】

9月30日（土）に小国町大字大宮地内で「おきたま森の感謝祭2023」を開催しました。

置賜地域の緑の少年団、山形県立小国高等学校、地元森づくり活動団体など150名が参加し、午前の部でササや灌木の伐採を、午後の部で緑の少年団活動を行いました。

緑の少年団活動では、マタギに代表される小国町の里山文化に触れる体験活動を行いました。株立ちする天然スギとブナの混交林、クマのねぐらの大きさ、模擬銃の重さ等、普段はできない体験が、団員たちの興味に刺激を与えたようでした。



模擬銃を体験する様子

庄内 総合支庁 【出羽庄内 公益の森づくり事業】

庄内海岸林は、先人が公益の精神に基づき造成してきた地域の財産です。本事業は、庄内海岸林を健全な状態で次世代に引き継いでいくため、「出羽庄内公益の森づくりを考える会」を開催し、関係団体間の情報交換や「庄内海岸林施業管理指針」の見直しを行いました。また、「砂防林を育てよう」等の住民参加の森林ボランティア活動の開催や、小・中学校等における海岸林の歴史や松くい虫被害に関する学習及び森林整備体験活動等への支援等を行いました。



出羽庄内公益の森づくりを考える会



住民参加のボランティア活動

やまがた緑環境税活用事業の実績と 令和5年度の取組みについて

平成19年度に導入されたやまがた緑環境税を活用した事業について、県では、Ⅰ「環境保全を重視した森林施策の展開」、Ⅱ「みどり豊かな森林環境づくりの推進」、Ⅲ「豊かなみどりを守り育む意識の醸成」の3つの施策の柱立てにより、森林の有する県土の保全、水源のかん養、自然環境の保全などの公益的機能の維持増進及び持続的な発揮に対応した事業に取り組んできました。

平成29年度からは2期目がスタートし、令和8年度までの10年間で11,600haの森林整備、令和8年度の税活用事業による森づくり参加人数7万人を目標に、間伐や被害木の伐採、県民参加の森づくりへの支援などを行っています。

【第2期取組実績】

単位（千円）

| 区 分 | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 | R4 | 合 計 |
|--------------------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|-----------|
| Ⅰ 環境保全を重視した森林施策の展開 | 488,339 | 511,607 | 532,197 | 542,267 | 503,579 | 519,273 | 3,097,262 |
| Ⅱ みどり豊かな森林環境づくりの推進 | 143,799 | 141,040 | 140,750 | 128,393 | 132,380 | 130,581 | 816,943 |
| Ⅲ 豊かなみどりを守り育む意識の醸成 | 20,248 | 21,345 | 20,781 | 16,827 | 17,073 | 22,992 | 119,266 |
| 合 計 | 652,386 | 673,992 | 693,728 | 687,487 | 653,033 | 672,846 | 4,033,471 |

【令和5年度の取組み（実績見込み）】

Ⅰ 環境保全を重視した森林施策の展開 527,109 千円

- ① 荒廃森林緊急整備事業 485,568 千円（実績見込み 1,007ha）
 - ・人工林整備 215,980 千円（実績見込み 609ha）
 - ・里山林整備 269,588 千円（実績見込み 398ha）
- ② 森林資源の循環利用の促進 41,541 千円



整備後の森林（南陽市）

Ⅱ みどり豊かな森林環境づくりの推進

134,438 千円

- ① 県民参加の森づくりの推進 125,095 千円
- ② 自然環境保全対策の推進 9,343 千円



森や自然とのふれあい活動

Ⅲ 豊かなみどりを守り育む意識の醸成

24,448 千円

- ① 森林・自然環境学習等の推進 7,387 千円
- ② みどりを育む意識の醸成 16,207 千円
- ③ やまがた緑環境税の評価・検証等 854 千円



やまがた緑環境税

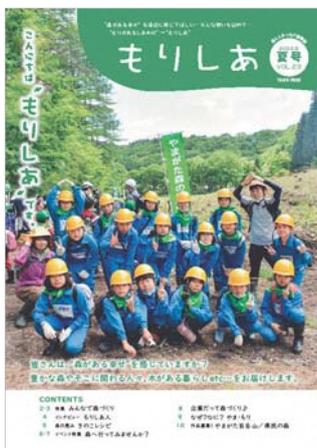
やまがた緑環境税のPR活動について

県では、県民の皆様へ「やまがた緑環境税」の趣旨や用途など、制度全体の仕組みのほか、やまがた緑環境税を活用した取組みの周知を図るとともに、森づくりの大切さについて理解を深めていただくため、各種イベントや普及啓発活動を行っています。

森と人をつなぐ情報誌「もりしあ」の発行

やまがた緑環境税を活用した事業や森と人との関わりを親しみやすい内容で紹介しました。

より多くの県民の皆様にお読みいただくため、県内各地の公共施設や金融機関、ショッピングセンターなどで配布しました。



「もりしあ」は
県ホームページから
ご覧になれます



山形県 もりしあ

新聞・フリーペーパーへの掲載

新聞広告やフリーペーパーを活用した普及啓発を行いました。

【令和5年5月4日山形新聞】



【manaid
令和5年10月号】



YouTube・Instagramの活用

やまがた緑環境税の若年層の認知度が低い現状を踏まえ、YouTube や Instagram 広告を活用した普及啓発を行いました。YouTube は 15 秒程度の動画で、やまがた緑環境税の用途について簡潔に説明し、Instagram では 2 種類の内容で森林のはたらきややまがた緑環境税の必要性などを紹介しました。

なお、動画広告については、みどり自然課の YouTube チャンネルにて公開していますので、以下の QR コードからご覧ください。

また、やまがた緑環境税の Instagram を開設し、税を活用した取組みについて紹介していますので、ぜひフォローのうえご覧ください。

【Instagram広告】



【YouTube広告】



←みどり自然課の
YouTube はこちらから

チャンネル登録も
お願いします!!